

ちば水土里支援会報

NO. 32

令和6年1月18日発行

特定非営利活動法人

ちば水土里支援パートナー



2024年1月1日 九十九里浜

—目次—

理事長挨拶	1
主な活動状況	2
1 活動実績	2
2 農業水利施設省エネルギー化推進対策支援事業	3
3 土地改良協会支援事務	3
寄稿	
不寛容の時代	4
千葉県農林水産部耕地課長 毛利雅史	
これからも地域に密着した社会整備の整備に貢献を！	6
千葉窯業株式会社 伊藤秀光	

令和6年 新年あいさつ

理事長 杉野 宏

新年明けましておめでとうございます。

理事長を拝命して早くも1年半が過ぎました。この間、皆様のご協力により円滑に会を運営することができ、会員の皆様、そして事務局の皆様のご理解・ご協力に感謝申し上げます。

さて、農業・農村は、私たちの生活に不可欠な食料を供給する機能等を有するとともに、社会生活の場となる役割を有しており、今後も持続可能な地域資源として守っていかなければなりません。

いま、農業・農村は、人口減少に伴う国内市場の縮小や生産者の減少・高齢化等の課題に直面しているほか、世界的な食料情勢の変化に伴う食料安全保障上のリスクの高まりや、気象変動、さらには地域紛争等の課題への早急な対応に迫られている中で、国では農業農村政策の基本である「食料・農業・農村基本法」を四半世紀ぶりに見直し、新たな基本法を策定する取り組みを進めています。画期的な農業・農村振興策となることを期待しています。

令和6年度土地改良関係予算も昨年末に4,463億円で概算決定し、令和5年補正予算1,777億円と合せて6,240億円（R5：6,134億円）前年比100.1%の予算が確保されました。

会員の皆様方が現役で活躍されていた数十年前からは大きく減っていますが、土地改良の職域代表として宮崎・進藤両参議院議員が、地域の声を確実に農林水産省に届けることで、必要な予算の確保や新たな制度の創設などにより、農業の競争力強化、安全安心な食料の確保、防災・減災・国土強靱化ための予算が確保され、土地改良事業が確実に進められています。

また、今年度も電力料金高騰対策支援業務とともに農業水利施設省エネルギー化推進対策支援事業について土地改良連合会より業務の一部を受託し、年度末に支援金が交付できるよう事務局を中心に取り組んでいます。

終わりにNPO水土里支援パートナーも15年目を迎え、会員の世代交代も徐々に進んできましたが、皆様の豊富な経験は、農業・農村の持続的な発展にまだまだ必要です。

継続的に支援活動を行うためにも、今が頑張りどころかと思いますので、皆様方のご健勝とご活躍を祈念申し上げるとともに、会の益々の発展を祈念して挨拶といたします。

主な活動状況

1 活動実績（令和5年年4月1日～令和5年12月31日）

月 日	活 動 内 容
4月 1日(土)	耕友会事務処理支援業務受託契約
〃	安房中央ダム定期点検業務受託契約
〃	千葉土地改良協会千葉支部事務支援業務受託契約
〃	君津地域土地改良協会事務支援業務受託契約
4月13日(木)	君津地域土地改良協会監査（袖ヶ浦市）
4月18日(火)	安房中央ダム堤体観測（南房総市）
4月20日(木)	安房中央ダム堤体観測（南房総市）
4月20日(木)	君津地域土地改良協会第1回幹事会（木更津市）
5月11日(木)	千葉土地改良協会会議（千葉・市原両支部）（市原市）
5月11日(木)	君津地域土地改良協会第1回理事会（木更津市）
5月19日(金)	安房中央ダム堤体観測（南房総市）
5月23日(火)	千葉土地改良協会千葉支部通常総会（千葉市）
5月30日(火)	令和4年度水土里支援パートナー事業監査（土地改良会館）
〃	令和5年度水土里支援パートナー第1回理事会（土地改良会館）
6月 2日(金)	君津地域土地改良協会通常総会（木更津市）
6月16日(金)	安房中央ダム堤体観測（南房総市）
6月27日(火)	令和5年度水土里支援パートナー第14回通常総会（千葉市中央区）
7月 3日(月)	第29回「美しい農村環境写真コンテスト」審査会（土地改良会館）
7月 4日(火)	利根川流域調節池連絡会事務支援業務受託契約
7月21日(金)	安房中央ダム堤体観測（南房総市）
8月 8日(火)	第29回「美しい農村環境写真コンテスト」表彰式（きぼーる）
8月23日(水)	利根川流域調節池連絡会第1回連絡会（利根土地改良区）
8月24日(木)	安房中央ダム堤体観測（南房総市）
9月 7日(木)	農業水利施設省エネルギー化推進対策支援事業（令和4年度繰越分）支援作業開始
9月21日(木)	安房中央ダム堤体観測（南房総市）
9月25日(月)	電力料等高騰対策支援に関する説明会参加（土地改良会館）
9月26日(火)	君津地域土地改良協会第2回理事会（木更津市）
10月13日(金)	安房中央ダム堤体観測（南房総市）
11月 2日(木)	千葉土地改良協会千葉支部会員研修会 座学（千葉市）
11月 7日(火)	農業水利施設省エネルギー化推進対策支援事業（令和4年度繰越分）支援作業終了
11月14日(火)	安房中央ダム堤体観測（南房総市）
11月30日(木)	千葉土地改良協会千葉支部第2回理事会（千葉市）
12月 1日(金)	君津地域土地改良協会会員一般研修会（木更津市）
12月11日(月)	利根川流域調節池連絡会要請活動支援（千葉県庁）
12月12日(火)	令和5年度水土里支援パートナー第2回理事会（千葉市中央区）

2 農業水利施設省エネルギー化推進対策支援事業に係る支援業務

本年度から農業水利施設省エネルギー化推進対策支援事業（以下省エネ化推進支援）の業務の一部を土地改良連合会より受託し、令和4年度の繰越し分から実施しています。

省エネ化推進支援の事業制度の詳しい説明は省略しますが、昨年度実施した農業水利施設物価高騰対策支援事業（交付金、補助率50%）はポンプ場などの水利施設に係る電力料金等の高騰分が補助対象となっていたのですが、省エネ化推進支援は、土地改良区等が作成する「省エネルギー化推進計画」に基づき農業水利施設の省エネルギー化を推進する施設のエネルギー料金（電力料の他油脂類など）の高騰分に補助するというものです。補助事業である水利施設管理強化事業（省エネルギー化推進型）として実施され、補助率は70%と高くなっていますが、省エネルギー化の実績を求められ、少しハードルの高い事業となっています。

令和5年度の農業水利施設物価高騰対策支援事業は省エネ化推進支援の対象とならない施設が対象になります。

支援業務の具体的な内容は、土地改良区等から、事業主体の千葉県土地改良事業団体連合会に申請された書類の一部（省エネルギー化計画、使用電力量及び電力料金のわかる書類）の内容確認と東京電力から通知された使用電力量及び電力料金のエクセルファイルを作成するというものです。

令和4年度の繰越し分の申請書類（40団体 390施設）について、9月から11月にかけて役員、事務局員が中心となり実施しましたが、あと320施設以上について作業が残っています。令和5年度分と合わせ、年度末にかけて作業が集中することが予想されますので、一緒に作業をしていただける方を募集しています。

3 土地改良協会支援事務

平成27年度より土地改良区支援の一環として、要請のあった土地改良協会の会議開催、研修会などの事務の支援をしており、令和5年度は千葉土地改良協会千葉支部、君津土地改良協会の2協会の支援業務を行いました。

土地改良事務所があった時代は、土地改良協会の事務は土地改良事務所が行っていたのですが、事務局が土地改良区に移り、職員のいる大きな土地改良区は対応できるのですが規模の小さい土地改良区では協会の事務に対応できないため、当NPO法人に支援要請があったものです。具体的な事務は、理事会、総会の開催通知、出席確認、会議の進行や視察、研修のアンケート調査や実施方法について協会事務局と相談し行ってい

ます。

ここ数年はコロナウイルス感染症の影響で視察研修旅行は行っていませんが、研修会は当 NPO 会員の今までの経験や知識を活かし、土地改良区の運営に参考になると思われるものを提案して行っています。

本年度の千葉土地改良協会千葉支部の研修会は千葉農業事務所の担当者を迎え「外来生物の生態と防除方法について」と当 NPO 法人の賛助会員である株式会社朝水技研から「農業用ポンプの基礎知識と日常点検委について」講演してもらいました。

また、君津土地改良協会の研修会は、君津農業事務所から「不能欠損処理について」を説明してもらいました。いずれも時宜にあった研修会になったと思っています。

これまで3協会の支援を行っていた時期もあったのですが、君津土地改良協会の事務局が規模の大きな土地改良区に変わり、協会の事務を行うことになったので来年度からは千葉土地改良協会千葉支部のみ支援業務を行う予定です。

【寄稿 1】

不寛容の時代

千葉県農林水産部耕地課長 毛利雅史

皆様、明けましておめでとうございます。新年早々、不吉な題での寄稿、失礼いたします。

ところで、皆様にとって「お酒」とは、どのようなものですか？人生の潤滑油？ストレス発散の薬？万病の源？私にとってのお酒は「自白剤」だと考えています。

数年前、とある私立大学へリクルート活動に行ったとき、県の農業土木職員となって、どんなときにやり甲斐を感じたか、話す機会を与えていただきました。その際、「あなたにとってお酒はどんなものですか？私にとってお酒は自白剤です。」とインパクトのある切り出しで、私の新人の頃のは場整備事業経験を話しました。お酒を飲めなかった私が、お酒に強くなり地元受益者との懇親会で酌を酌み交わしながら色々な話をしていただけるようになった話でした。つまり「潤滑油」の面から本音を聞き出せるようになり、ある意味「自白剤」の役割まで担った酒で、受益者の皆様と本音で話せるようになった時にやり甲斐を感じたと遠回りに伝えたのです。

多分、他のブースの社会人とは違う切り口で、予想以外の展開に聞きに来ていた学生は俯くことなく、真剣に私の話に聞き入っていました。「これはいい反応だ！やったな！！」と手応えを感じたつもりでしたが、その後の質問で慌てることになり

ました。

「お酒を飲まないと話ができないってことは、農村はそんなに閉鎖的なのですか？」

「勤務時間中に懇親会があるのですか？休日の出勤とかは強制ですか？」 e. t. c.

その後、この話を皆の前ですることはやめました。

昭和のオリンピック後の生まれで平成初期採用の私にとって、日本の高度成長期に青春を過ごされた先輩方と過ごせた時間は宝物です。イメージは、「イケイケ」。色々なものを創造し整えてこられた時代だったかと思います。今は、ほ場整備や用排水設備をはじめ、ほとんどの事業が再整備となっています。

既に耐用年数を過ぎている機場に、地元の予算を考えてどの程度までの整備を行い機能を維持するか。ほ場整備事業で、「本当に」作付けできる作物だけでいかに費用対効果を出せるかなど、「イケイケ」の時代では考えられないような繊細な検討が求められるようになっていきます。受益者となる農家も、米の消費減少と米価下落が続く中、生産意欲をなくし、担い手の意見に地域が纏まらないばかりか、我々現役県職員に対する当たりも強くなっています。

工事現場での監督員と代理人のやりとりは文書で取り交わし、整理し課長まで報告。現場打合せ時の変更要素は、その都度積算し、所長までの決裁を得る。車に乗る日の朝は、アルコールチェック。私が現場監督をしていた時代よりも遙かに世間の目も厳しくなっています。先輩方はこの細かさ耐えられますか？私は辛いです。

もし、先輩方が我々の仕事を歯がゆく思い「俺の頃はもっと仕事をしていた」とお思いならば、色々なしがらみがあり「イケイケ」で仕事できない我々を哀れと思っていただけだと思います。だからこそ、行き詰まっている我々、特に若手職員に対する叱咤激励は微妙ですが、暖かい助言や励ましはガソリンとなります。子や孫のように見えてはきませんか？時代背景が変わってきている中での「「あれ」ができるはずだ」などのお言葉も微妙です。生意気を言ってすみません。寛容なご指導をお願いいたします。

こんなことを言わせていただくのも、千葉県の「耕地課」の名を後世に残したいからです。今年の全国都道府県耕地関係課長会議の場でも、「耕地課の名前が残っている県は珍しい」や「千葉県が一番古いのではないか」などの声をかけていただきます。

だからこそ、頼りない課長ではありますが、不寛容な時代の中でも、柔軟に対応しつつ関係職員200名弱をしっかりと導きながら、頑張ったいと思いますので、重ねて皆様の寛容なご指導・ご協力をお願いいたします。

[寄稿 2]

これからも地域に密着した社会基盤の整備に貢献を！

千葉窯業株式会社 伊藤 秀光

<千葉窯業創業者:池田喜千平氏の像>



(長野県佐久市出身)

<会社敷地にあるコンクリート製品発祥之地 記念碑>



(千葉県知事 沼田 武 書:昭和 59 年 7 月)

私が千葉県に就職した昭和 50 年代は、土木事務所では県道の側溝や歩車道境界ブロックが現場打で施工されていましたが、土地改良事業では既に昭和 30 年後半から水田ほ場整備地区内の排水路はコンクリート柵渠やヒューム管、U 字溝等が多く使われていました。

千葉窯業の会社発展に多大な貢献をされた小川秋夫さん(亡)は、昔の土地改良事業はコンクリート柵渠が「原材料購入工事」として役所の支給品扱いされた時代があり、昼夜を問わず製造して苦勞はしたが、この業界の発展に繋がって大変良かったと聞かされました。

今では土木事務所でも千葉県型側溝やボックスカルバート、自由勾配側溝、歩車道境界ブロックが二次製品化され工事現場では標準的な工事として使用されております。

最近、小規模で複雑な現場打構造物等について、建設業者から若干割高でもいいから工場で作出来ないか等の相談が多く、原因としては鉄筋工、型枠工の建設作業員の不足が深刻な現状のため、出来るだけ期待添えるように柔軟な対応をしているところです。

農業農村整備事業の工事の大半は、非かんがい期の限られた工期内で実施されることからプレキャスト化による工期短縮のメリットは極めて大きく、設計・施工段階さらには現場監督業務の生産性向上にも寄与します。

そんな中で、弊社も会員となっている関東農業土木事業協会(セメント部会)では集まるたびに材料単価の適正化や、プレキャスト製品活用の話が多く議論されています。

<本年度の協会として提案事項の紹介>

関東農業土木事業協会セメント製品部会 令和5年度提案事項(案)

○適正価格での積算とプレキャストコンクリート製品の活用促進について

プレキャストコンクリート製品については、建設物価等の調査価格とメーカーの見積価格に大きな格差がある状況が続いており、調査価格に基づく積算では製品の納入が困難な状況となっています。

適正な価格での納入のため、工事毎に見積徴収に基づく積算をお願いします。

令和4年11月に発出された「コンクリート構造物におけるプレキャストコンクリート製品の導入促進について」の通知に基づきプレキャストコンクリート製品の活用をお願いします。

※我々コンクリート二次製品メーカーは、千葉県の農業農村整備事業に支えられながら発展してきた歴史があることから、今後とも地域に密着した新製品の開発や大型化を目指し、農業農村整備事業の持続的発展に貢献できればと考えております。

<土地改良事業等でお世話になっている製品事例>

①東葛飾農業事務所:防災ストックマネジメント事業 利根Ⅱ期地区 3号排水路(田中調整池内)



現況:軽量鋼矢板護岸 → 腐食著しい
(利根土地改良区内)



計画:現場打L型+H鋼切梁
実施:プレキャストL型+RC切梁

(既設軽量鋼矢板は存置し、内側にL型設置)

②海匠農業事務所管内:地域ストックマネジメント事業 夏目地区 排水路



現況:切梁式柵渠 → 耐用年数超過、洗堀、老朽化
(干潟土地改良区:夏目支区地内)



計画:既存柵渠存置し二面水路(底版開口)
実施: 同上

③山武農業事務所:湛水防除事業 蓮沼二期地区 幹線排水路(導水路)



現況:コンクリート矢板等 → 断面拡幅
(横芝光町～山武市:旧山武郡東部土地改良区地内)

計画:コンクリートL型水路(三面張:底版コンクリート)
実施: 同上

④海匠土木:銚子連絡道路(横芝光～匝瑳間)



アンダーパス内付替用水路:(プレキャスト三面水路)
(手前は大利根用水既設用水路、副道下はサイフォン)

⑤圏央道:神崎インターアクセスパーキング



大型プレキャストL型擁壁
(たて壁ブロックと底版ブロックを連結)

<編集後記>

元日は能登半島地震が発生し、2日には羽田空港のJAL機と海保機との衝突事故が起き、今年には災害と事故から始まってしまいました。東日本大震災を思い出すような映像を見て、地震の脅威をあらためて感じ、まだ多くの人が避難生活している中ですが、高齢化、人口減少が進んでいる過疎地域でどのような再建ができるのか考えてしまいました。

日本は地震の活動期に入ったと言われ、今回の地震は他人事ではなく、遠くない将来首都直下型地震などが予測されるので、気持ちの備えをしておくことが必要なのでしょう。

会員の高齢化などNPO法人の活動が難しなる状況ではありますが、今後とも会員の皆様のご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。
(hannimutatio 記)

ちば水土里支援会報 第32号 (発行日 令和6年1月18日)

発行: 特定非営利活動法人ちば水土里支援パートナー(発行責任者: 杉野宏)

会員: 正会員112名・19団体 賛助会員 16団体

事務局: 〒261-0002 千葉県美浜区新港249番地8 千葉県土地改良会館別館

Tel 043-241-1755 <http://npochiba.boj.jp/npochiba>

銀行口座番号: 千葉銀行本店営業部 3908901 特定非営利活動法人ちば水土里支援パートナー
理事長 杉野 宏

